

自治体 あいちの仲間

発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市北区柳原三丁目7番8号
URL http://www.jaichi.jp TEL 052 916-2251
Eメール info@jaichi.jp FAX 052 916-2308

2009.12.10
No.997

発行責任者 伊藤 慎次 定価 10円
組合員の購読料は組合費のなかに含まれています

第7回拡大闘争委員会

●新春旗びらき

2010年1月8日(金)

午後3時・6時

県本部



委託単価は下がり、仕事は増え

検針員の待遇改善へつどい

名水労

組織拡大月間の重点課題である、非正規・関連労働者の処遇改善と組織化に向けたとりくみが、各単組ですすめられています。11月27日には、名古屋水道労働組合が、水道検針員集会を開催し、「検針員の仕事と待遇改善を」と懇談がすめられました。

の流れと、名古屋市の外郭団体見直しの動きの中で、水道サービスの「株式会社化」の動きがすすめられています。同時に、河村市政のもとで、各区の水道営業所再編の動きが強まり、検針員の拠点が大きく変えられようとしています。こうした状況の中で、市民サービスの維持向上と、検針員の賃金や労働条件の改善をどうすすめていくのか、検針員の不安や不満も出し合



い、運動の方向をみんなで確認しようとするところが増えてきました。集会へは各区から50名以上の検針員が参加。はじめに、名水労の渡辺委員長が水道サービスをめぐる現状を報告。「検針員は単純に使用量を見ているだけではない、変動幅(使用量)が大きければ、漏水の可能性を指摘し、調査もすすめる」と、市民の水を守ってきた検針員の歴史と役割にふれながら、「株式会社化あるいは随意契約から一般競争入札になれば、いままで培ってきた検針員の仕事のノウハウや、同職員との信頼関係にも大きな影響が

出る」と問題点を指摘。懇談では、検針員から13年この仕事をしているが給与(委託単価)が下がっている上に、仕事が増え労働時間が長くなっている「健保や年金は全額個人負担であり、補助があってもいいのではないか」「検針は危険も伴うが、個人委託の名のもとに労災保険さえ入っていない。勤務中の事故・ケガは何とかならないのか」など、切実な要望が出されました。

その上で、労働組合の必要性などを学び、今後連携していくことを話し合いました。

ルール無き競争にストップを

公契約条例制定に向け自治体と懇談

地元業者の育成へ ランクアップ・岩倉市

公共事業・公共サービスは、市民生活を支えるために不可欠なものです。しかし、それを現場で支える労働者の間に、貧困が広がっています。「財政効率」の名のもとに、委託費や調達費は年々削減され、入札単価も下がっています。その結果、受託した先の労働者の賃金も下落、行政が低賃金労働者をつくりだしているといわれます。こうした現状に警鐘をならし、公務・公共関連事業ではたらく労働者に、適正な賃金・労働条件と、雇用の安定を求める公契約適正化運動の一環として、愛労連と自治労連は12月1日、岩倉市役所を訪問し、懇談を行いました。

競争入札や民間委託が広がる中、採算を度外視したダウンピングで、労働者の賃金低下と雇用問題が全国的に起きていくことを指摘。大

阪市交通局が発注する清掃業務では、在職中の労働者が生活保護を受ける事態が生まれていることを紹介。

税金で、ワーキングプアをつくってはならない。受注競争により安価な契約がされた場合、企業の利益確保のため、そのしわ寄せが受注企業や下請け企業にはたらく労働者にも影響

する。岩倉市は「住民の税金を使ってワーキングプアをつくってはならないことは認識しているが、税金を有効に使って事業を行うために、適正な価格競争により契約することも重要」と、市の考えを明らかにしました。そして

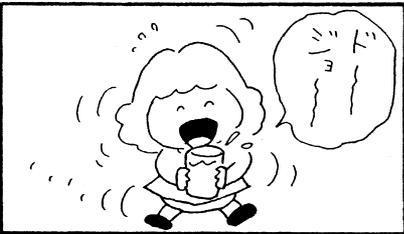


岩倉市との懇談

「品質確保の点から、最低制限価格を設け、極端な低価格で契約することはない」としました。また、「最低賃金を引き上げることが重要」と発言し、その上で「国が公契約法を制定すれば地方も制定に向けて動ける」としました。

組合側は、今年9月、全国ではじめて賃金の最低額などを定める公契約条例を制定した、千葉県野田市のとりくみなども紹介し、地方から国を包圍し、公契約法の制定を国に迫ることも大切とし、懇談を終えました。

お天気家族



お知らせ

12月25日号は1月10日号と合併し、新年号でお届けします。



たたかって仲間を増やし雇用と権利を守ろう

パート・臨時の元気ができる集会

派遣もバイトもみんな集まれ、祭りだワッショイと呼びかけられた、第14回パート・臨時などの元気の出る集会が11月23日、金山労働会館で開催されました。



フリー交流①と真剣に話を聞く参加者②

愛労連の吉良事務局長はあいさつで「1700万人いる、非正規や期間工など、200万円以下で働かされている有期・不安定労働者を、全労連・愛労連の隊列に加えて処遇改善をすすめるなければ、春闘での前進はない」と強調。来春闘で、非正規の処遇改善に全力を上げることの重要性を強調しました。記念講演では、元愛労連議長の見崎さんが「労働組合の現在、過去、未来」と題して講演。急増する労働相談や組合結成、マスク取材の増加などに触れ、いま労働組合に注目が集まっていることを新聞記事の資料で紹介。全労連・愛労連が歩んできた20年間は、「4トントラックに10トンの荷物を積んで走り続けた」と総括。要求がなかなか実現しなくてもあきらめずに要求し続けなければいけない、たたかって仲間を増やし、自らの雇用と権利を守ろうと締めくくりました。集会では、フリーな交流会や、産直の野菜販売

復帰後の職場での対応は？

メンタル研修・西尾市職

西尾市職員組合は、12月4日、「こころのクリニック西尾」の病院長・芳賀幸彦先生を講師に「心も体も健康で働くために」と題し

たメンタルヘルズ講座を開催しました。組合では、メンタル不全への予防策や職場復帰したときの対応の仕方などを学ぶととりくんだもので、組合員の関心も高く、人事課からの参加含め46名が学びました。



芳賀先生は、かかりやすいこころの病として①うつ病②不安の病(気分神経症)③統合失調症をあげ、それぞれの病の特徴、まわりの対処方法等をわかりやすく説明。うつ病(急性期)のときや対応について、仕事

量を抑えることや、環境を調整し目標を下げる、やれないことはやれないと言ったことの重要性などをあげました。

参加者からは、「あらためてわかりやすく聞くことができて良かった」との感想が寄せられました。

医師・看護師ふやせ 2時間で1400筆

豊橋市職労・病院支部



署名には列もできません。初めに参加した組合員は、「夜勤明けで疲れているのにも思っただけ、少し訴えるだけで多くの人が署名してくれ、また、大変だけれども、ばってねという励ましももらって、疲れもいやされました」と話していました。

豊橋市職労病院支部は、11月30日から12月2日までの3日間、深夜勤や当直明けの白衣に身を包んだ看護

師、技師、薬剤師ら58人が「医師・看護師を増やして安心と信頼の医療を」と、病院玄関前で、「医師・看護師増員」「地域医療の充実」等の請願署名行動を行いました。

参加者は、夜勤明けの疲れの中、9時から11時頃まで、患者さんなどに訴えながら、ピラやティッシュを配布。連日2時間弱で1400筆を超す署名を集める

偏向任命に抗議

地労委

愛知県は12月1日、地方労働委員会の労働者委員7名全員を「連合愛知」に独占させる偏向任命を行いました。地労委は、労使紛争などの解決に向け、労働者使用者、公益の3者で構成する委員会を、公正な委員選出が重要だと、99年の名古屋地裁では「委員構成は

多様性を有することが望ましい」と判決。県はこれをも無視して任命したもので、愛労連は、ただちに抗議し、撤回を求めました。

北名古屋市職労11月21日(総) 執行委員長 後藤 副執行委員長 中川久美子 書記長 太田由美子 会計 鈴木 智恵

12月11日の知恵袋

重曹でお掃除

体にも環境にも安全なクリーニング剤として重曹が注目され、掃除用重曹も市販されています。年末の大掃除で大いに利用しましょう。重曹は弱アルカリ性なので、油污などの酸性の汚れに中和作業が働き効果を発揮します。細かい粒子で穏やかな研磨作用もあります。(ただし漆器は傷つけるのでダメ。アルミ製品も黒ずんでしまうことがある。)

換気扇の頑固な汚れは、重曹を溶かした水にしばらくつけて、汚れを浮き上がらせてから、こすり取ります。

愛労連 労働組合 役員セミナー

日程(開講日) 初回 12月19日(土)14時~17時 1~6月 毎月第4(土) 会場 12月19日 名古屋国際会議場 231会議室 1~6月 労働会館本館 労働組合の 魅力 再発見 チカラ 受講者大募集!